※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１０

令和５年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	「NEXT　数学Ⅰ」　（数研出版）						
副教材等	CONNECT　数学Ⅰ　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 数学は正しい論理の積み重ねです。定義を正しく理解しましょう。
- 問題の解答は、ただ覚えたりそれを真似して似た問題を解いたりするだけでなく、解答で重要なことは何なのかという本質をしっかり理解して身につけるようにしましょう。
- 「何を理解して何を理解できていないか」を確認しながら学習しましょう。また、１つのことを学んだ後、それを振り返って考えるようにしましょう。

２　学習の到達目標

- 基本的概念や原理･法則を体系的に理解し､物事を数学的に解釈したり表現する技能を身につける。
- 事象を論理的に考察したり、数学的な表現を用いることで、事象を的確に表現する力を養う。
- 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度､粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式・集合と命題・２次関数・図形と計量・データの分析において、基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，基礎的な知識を身に付ける。	数と式・集合と命題・２次関数・図形と計量・データの分析において、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする。	数と式・集合と命題・２次関数・図形と計量・データの分析において、それらを相互に関連付けた内容を生活と関連つけたり発展させたりするなどした課題に対して、主体的に学習する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	式の計算	・多項式の加法と減法 ・多項式の乗法 ・因数分解	a:基本的な問題が解けるか b:工夫して問題を解決しているか c:「３次式の展開と因数分解」などについて主体的に取り組んだか	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
	実数	・実数 ・根号を含む式の計算	a:基本的な問題が解けるか b:工夫して問題を解決しているか c:「２重根号」などについて主体的に取り組んだか	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
	１次不等式	・不等式の性質 ・絶対値を含む方程式・不等式	a:基本的な問題が解けるか b:工夫して問題を解決しているか c:「絶対値と場合分け」などについて主体的に取り組んだか	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
	集合と命題	・集合 ・命題と条件 ・命題と証明	a:基本的な問題が解けるか b:工夫して問題を解決しているか c:「３つの集合」や「無理数であることの証明」などについて主体的に取り組んだか	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
	関数とグラフ	・関数とグラフ ・2次関数とグラフ	a:基本的な問題が解けるか b:工夫して問題を解決しているか c:「グラフの平行移動・対称移動」などについて主体的に取り組んだか	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
二学期	２次関数の値	・2次関数の最大・最小 ・2次関数の決定	a:基本的な問題が解けるか b:工夫して問題を解決しているか c:場合分けをして考える問題について主体的に取り組んだか	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
	２次方程式と２次	・2次方程式 ・2次関数のグラフとx軸の位置関係 ・2次不等式	a:基本的な問題が解けるか b:工夫して問題を解決しているか c:「放物線と直線の共有点」や「絶対値を含む関数のグラフ」などについて主体的に取り組んだか	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
	三角比	・三角比 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張	a:基本的な問題が解けるか b:工夫して問題を解決しているか c:三角比の拡張について主体的に取り組んだか	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

三学期	三角形への応用	・正弦定理 ・余弦定理 ・正弦定理と余弦定理の活用 ・三角形の面積 ・空間図形への活用	a:基本的な問題が解けるか b:工夫して問題を解決しているか c:「ヘロンの公式」などについて主体的に取り組んだか	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題
	データの分析	・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばりと四分位数 ・分散と標準偏差 ・2つの変量の間の関係 ・データの分析を活用した問題解決 ・仮説検定の考え方	a:基本的な問題が解けるか b:工夫して問題を解決しているか c:「変量の変換と仮平均」「偏差値」「統計的探究プロセス」などについて主体的に取り組んだか	定期考査	定期考査	・課題 ・パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度